

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

太田市長 清水 聖義

市町村名 (市町村コード)	太田市 (205)
地域名 (地域内農業集落名)	強戸地区 【大鷲町・上強戸町・強戸町】 (大鷲町、上強戸町、中強戸町、下強戸町)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年3月14日 (第2回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

強戸地区東部においては米麦の産地として一団の農地が形成されており、区画も整理されているが、基盤整備事業から一定の時間が経過しており、既存水路の老朽化が散見される。このような現状の中で地域の農業者は高齢化しており、多くの農業者が廃業してしまう懸念がある。

農業者の高齢化や農業への新規参入者の減少により水利組合等の既存の農業コミュニティーの維持も困難になると予想される中で、既存の農業インフラが老朽化している事を踏まえると当地区の営農環境は今後悪化していく可能性がある。

現在維持されている耕作可能な状態の農地の機能を低下させずに次世代農業者に引き継ぐ事及び良好な営農環境保全のためには、人的資源確保・育成等の課題がある。そして営農を維持・発展させる為に地域の住民同士の繋がりが必要不可欠であり、地域内の助け合いに主眼を置いた活発な農業コミュニティーが求められている。

(2) 地域における農業の将来の在り方

優良農地として今後も活発に営農を実施していく為に農業用道路や農業用水路等の設備面での整備を段階的に進める。

また既存の農業用設備を支える為に、農業者同士もしくは住人同士の交流を促進する。活発な交流により農地の交換や集約化等による利害関係から生じるトラブルを回避し、円滑な農業コミュニティーが運営される事を目指す。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	130 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	130 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	- ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針

農地中間管理機構についての理解を地域全体で促進し、これを活用して、認定農業者や新規就農者を中心に団地面積の拡大を進めるとともに、担い手への農地集積を進める。

(2) 農地中間管理機構の活用方針

農地中間管理機構を活用し、担い手の経営意向を斟酌したなかで段階的に集約化を進める。

(3) 基盤整備事業への取組方針

担い手のニーズを踏まえ、農地中間管理機構関連農地整備事業等を活用し、必要に応じて農用地の大区画化・汎用化及び、既存の水路等の更新を実施する。

(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針

若手農業者を確保し、10年後を見据えた技術継承等をする事で担い手を育成する。また法人組織を設立する事で大規模に経営し、大型農業機械の運用や荒廃農地を発生させない継続的な営農を実施する。

(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

地域内で農作業の効率化を図るため、必要に応じてJA等の農業支援サービス事業を利用し、遊休農地の発生防止を図る。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

--